

第90回理事会議事録

1. 開催日 平成23年10月27日(木) 12:00
2. 場所 ラマダホテル大阪 16F
3. 出席者 高木理事長
酒匂副理事長(東京支部長)、林副理事長(東海支部長)、
木村副理事長(大阪支部長)、木村副理事長(九州支部長)、
岩谷理事(東北支部長)、大川理事、角田理事、原理事、秦理事、
吉里理事、東理事、白井理事、山崎理事、自見理事、
事務局(柘野)
4. 議題 ①理事長挨拶
②23年度事業の上期実施報告
③組合員・賛助会員の入脱会状況報告
④23年度予算の執行状況報告
⑤次期(第37期)通常総会の日程・開催場所について
⑥平成24年合同新年賀詞交歓会の開催要領について
⑦今後の会合予定について
⑧懇談

5. 経過

議事に先立ち、去る7月臨時総会において新理事に就任した東理事(神鋼鋼板加工(株)社長)より挨拶があった。

(1) 理事長挨拶

高木理事長より大要以下の挨拶が行われた。

「前回の理事会は東日本大震災直後の4月に開催し、混迷の真っ只中であつた。半年が経過した今、欧米経済の変調やタイの洪水問題等不安要因を抱えつつも、シャア業を取り巻く需要環境はようやく明かりが出始めた感じである。止まっていた建設案件が動き出している。橋梁は下期偏重型の開札(上期9万ト、下期19万ト程度)だが、先行き望みが出てきた。建築は、昨年後半以降、端境期の様相を呈し不振が続いたが、11月着工の案件が40万ト程度計画され、年明け以降のシャアの仕事に繋がると見込まれる。絶好調の建産機分野に加え、建設需要も閉塞感が少し薄らいできたが、シャアの仕事が出てくるまでの半年間は辛抱するしかない。

去る10月14日、林東海支部長をはじめ地元の方々のご尽力を得て、第2回全国青年交流会を名古屋で開催し、交流を深めた。各地区の青年幹部の人達には、これを契機に、今後とも色々な媒体を通じて情報交流を助け、継続して行ってほしい。

また、次期総会の日程等について本日までご検討いただくが、この4年間で2回、リ

一マンションや震災で東京開催に変更されたが、来年の開催場所は4年ぶりの地方開催を含めてご議論いただきたい。」

(2) 23年度事業の上期実施報告

事務局より、本年度上期に実施された事業内容に関し説明、了承された。

なお、日本溶接協会から案内のあった「溶断小委員会への入会」については、各支部長を通じて、当該支部組合員の参加意思の有無を確認していただき、その結果を事務局へ連絡することとなった。

(3) 組合員・賛助会員の入脱会報告

事務局より、本年度の組合員入脱会状況について報告。組合員は入会2社、脱会3社、10月現在の組合員数は165社・6事業所となっている。また、賛助会員は1社入会、1社脱会、計22社・1団体である。

(4) 23年度予算の執行状況報告

事務局より、本年度上期支出実績及び年度見込みについて報告、了承された。

(5) 次期(第37期)通常総会の日程・開催場所について

次期(37期)通常総会の開催日程については、第105回総務委員会の提案通り、「24年5月18日(金)」開催で了承された。

開催場所については、総務委員会では前期の開催予定地であった高知市が提案されたが、これを含めて地方開催の方向で検討することとなった。本件は総務委員会に一任され、事前に支部長を通じて各支部の意見要望を集約いただき、そのうえで決定することとなった。

(6) 平成24年合同新年賀詞交歓会の開催要領について

事務局より、平成24年1月13日(金)17時よりロイヤルパークホテルにおいて開催される標記賀詞交歓会の開催要領に関し、説明が行われ、了承された。今回は当組合が幹事団体で、参加者数は約600名を予定。

(7) 今後の会合予定

次回理事会：平成24年4月20日(金)12時 鉄鋼会館803号室

(8) 懇談

出席の理事より、各地区の需要動向や問題点を中心に報告があり、種々意見交換が行われた。

以上